

FLAMMA

FX 200

GUITAR MULTI-EFFECTS
取扱説明書



正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら
<https://quanta-intl.jp/support/>

注意事項

電源について

電源アダプターの接続には、正しいACコンセントをご使用ください。

電源アダプターは9V (センターマイナス) をご使用ください。内部マイナス、外部プラス、電流1A以上の電源アダプターを使用してください。これを怠ると、機器の損傷、火災、その他の問題が発生します。使用しないときや雷雨のときは、電源プラグを抜いてください。

コネクション

本装置を接続または取り外す前に、必ず電源や他の機器のスイッチを切ってください。またデバイスを移動する前には、必ずすべての接続と電源ケーブルを外してください。

重要な安全上のご注意

- 以下の説明をお読みください。
- これらの指示を保管してください。
- すべての警告に耳を傾ける
- すべての指示に従う
- 本装置を水の近くで使用しないでください
- 乾いた布のみで拭いてください。
- 干渉を避けるため、ラジオやテレビなど磁界を発生する機器から離れた場所で使用してください。
- スイッチやコントロールを無理に使用しないでください。
- 紙、金属、その他の物を機械に落下させないでください。
- 本機を落としたり、衝撃や過度の圧力を加えたりしないでください。

FCC認証

本装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作は以下の2つの条件に従います：

- 本装置は有害な干渉を引き起こさない
- このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければなりません。

特徴

- 高品質の5インチLCDタッチスクリーン。
- プリセットとギター・エフェクトをコントロールする3つのフットスイッチ。
- 10種類のエフェクト・モジュール、合計200種類のエフェクト。
- 最大200のユーザー・プリセット・スロットを編集可能。
- 編集可能なエフェクト・チェーンにより、モジュールの順番を変更可能。
- スタジオ、ステージ、練習に柔軟に対応する広範なI/O。
- 様々な状況に対応する2種類のフットスイッチ・コントロール・モード。
- 本物の真空管アンプのフィーリングを再現する、ノンリニア・サンプル・モデリング・テクノロジーに基づく高品質リアンプ・モデル。
- 30種類の高品質キャビネット・シミュレーション (1024pts)、サードパーティ製インパルス応答ファイルの読み込みに対応。
- MIDI INまたはMIDI OUT用のプログラマブルMIDIポート。
- グローバルEQは、様々なオーディオ・セットアップに応じて音色を素早く調整することができます。
- 内蔵52秒ルーバーは、プリ・モードまたはポスト・モードに設定可能。
- 80種類のドラムマシン・バリエーションと10種類のメトロノーム・スタイルから選択可能。
- CTRLフットスイッチにより、対応するフットスイッチをオン/オフ・スイッチまたはタップ・テンポ・スイッチとして設定できる。
- ディレイ/リバーブが自然にフェードアウトするスプillover機能。
- プリセット管理とファームウェア・アップデートのための専用エディター・ソフトウェアによるUSBオーディオ・レコーディングに対応。

仕様

エフェクト		インパルス・レスポンス		その他	
エフェクトモジュール数	10	ファイル形式	.WAV	寸法	343×170×55mm (D×W×H)
エフェクト数	160	サンプルレート	44.1kHz	重量	1780g
プリセットパッチ数	200	サンプルの精度	24 bit	アクセサリ	電源、USBケーブル、クイックガイド
		サンプルポイント	1024点		

ハードウェア

AUX IN	1*1/8 "アンバランス・ステレオ入力ジャック, インピーダンス値47kΩ
EXP 2	1*1/4 "TRSジャック, インピーダンス値10kΩ
INPUT	1*1/4 "アンバランス・モノラル入力ジャック, インピーダンス値1MΩ
SEND	1*1/4 "アンバランス・モノ出力ジャック, インピーダンス値510Ω
RETURN	1*1/4 "アンバランス・モノラル入力ジャック, インピーダンス値1MΩ
OUTPUT	2*1/4 "アンバランス・モノ出力ジャック, インピーダンス値 600Ω
AUX	1*1/8 "ステレオ出力ジャック, インピーダンス値47Ω
XLR OUT	2*バランスXLR出力ジャック, インピーダンス値600Ω
MIDI	1*5ピンMIDIメスポート
USB	1*USB TYPE-Cポート, データ転送およびUSB AUDIO用
DC IN	DC 9V 1A, センターマイナス
SNR	A/Dコンバーター 24ビット 112 dB; D/A コンバーター 24ビット 110 dB

トップパネル



1. **MASTER** : 6.35mm出力、XLR出力、ヘッドフォン出力の音量レベルをコントロールできます。
2. **クロマチック・タッチスクリーン** : ペダルの状態や詳細情報を表示します。
3. **VALUE** : 回転させるか、または押してオプションから選択します。プリセットの選択、モジュールのオン/オフ、モジュールの移動、パラメーターの編集に使用できます。
4. **EXP** : エクスプレッションペダルのON/OFFを表示するLEDインジケーター。エクスプレッション・ペダルを押すと、オン/オフが切り替わります。
5. **BANK UP/BANK DOWN** : 押すとプリセットバンクを上下にスクロールします。
6. **A/Bフットスイッチ** : 押すとプリセットAとプリセットBが切り替わります。
7. **エクスプレッションペダル** : エクスプレッションペダルをボリュームペダル、ワウペダルとして設定したり、他のパラメーターをコントロールすることができます。

インターフェースパネル

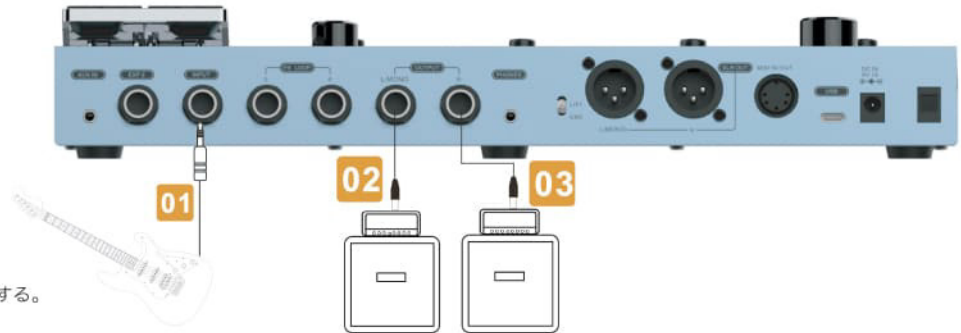


1. **AUX IN** : 1/8"ステレオ音声入力端子。
2. **EXP2** : 1/4"ステレオ・オーディオ入力ジャック、外部エクスプレッション・ペダルに接続。
3. **INPUT** : 1/4"モノラル・オーディオ入力ジャック、ギターまたは他のペダルの出力に接続。
4. **SEND** : FX LOOPの1/4"モノラル・オーディオ出力端子、外部ペダルの入力端子に接続、4CMケーブル接続時はアンプの入力端子に接続。
5. **RETURN** : FX LOOPの1/4"モノラル音声入力端子、外部ペダルの出力端子に接続、4CMケーブル接続時はアンプのSENDに接続。
6. **OUTPUT** : アンバランス信号用1/4"ステレオオーディオ出力ジャック、モノラルオーディオのセットアップのためにL(MONO)に接続してください。
7. **PHONES** : 1/8"ステレオヘッドホン出力。
8. **GND/LIFT** : XLR出力用のアースとリフトのスイッチ。
9. **XLR OUT** : XLR ステレオ音声出力、バランス信号、モノラル設定の場合はL(MONO)に接続してください。
10. **MIDI IN/MIDI OUT** : 5 PIN MIDIポート、MIDI INまたはMIDI OUTに設定できます。
11. **USB** : Type-C USBポート、コンピュータに接続してプリセット管理、IRファイルのインポート、ファームウェアアップデート、オーディオインターフェースとして使用できます。
12. **DC IN** : 電源ポート、純正電源の使用をお勧めします。
13. **電源スイッチ** : 電源のオン/オフを切り替えます。

推奨セットアップ

POWER AMP + Cabinetへの接続

このセットアップでは、FX LOOP内蔵アンプ、または個別のパワーアンプ・セクションを使用します。最良の結果を得るためには、AMPモジュールをオンにすることをお勧めします。



- 1.ギターに接続
- 2.アンプのFXループのRETURNに接続する。
- 3.パワーアンプに接続

FRFR デバイスへの接続

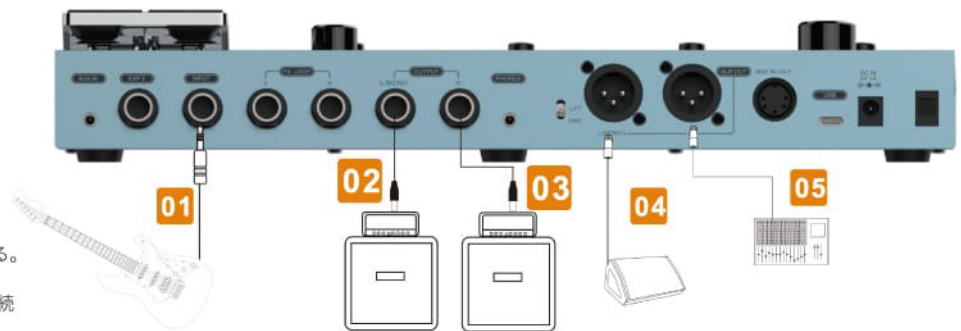
このセットアップは、オーディオ・インターフェイス、パワード・ステージ・スピーカー、PAシステム、スタジオ・スピーカー、ヘッドフォン、その他のFRFR（フルレンジ、フラット・レスポンス）機器に使用できます。AMPとCABモジュールで最良の結果を得ることができます。



- 1.ギターに接続
- 2.スタジオ・モニターまたはオーディオ・インターフェイスに接続
- 3.ヘッドフォンに接続
- 4.ステージモニターまたはPAシステムに接続

FRFRデバイス + アンプへの接続

FRFRデバイスとアンプで使用する場合は、編集画面のアイコンをクリックしてSYSTEM-GLOBAL CABメニューに入り、アンプのキャビネットが接続されている場合は出力信号のキャビネットシムをオフにし、キャビネットが接続されていない場合は出力信号のキャビネットシムをオンにしてください。

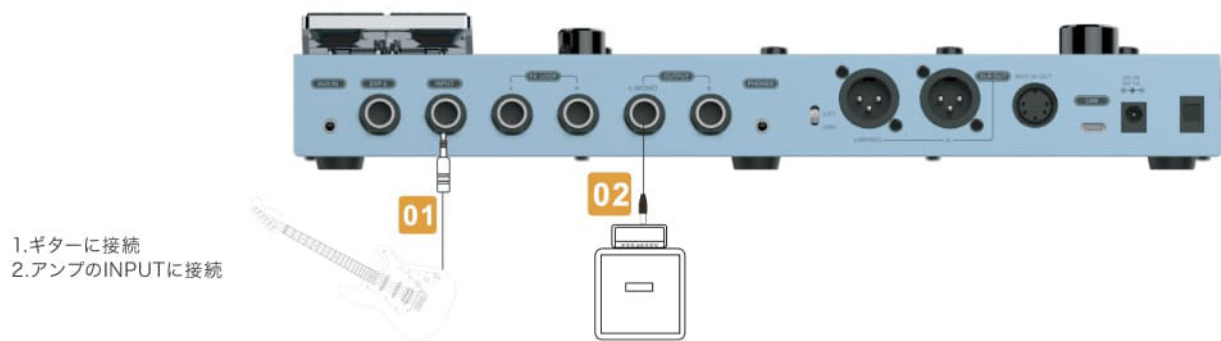


- 1.ギターに接続
- 2.アンプのFXループのRETURNに接続する。
- 3.パワーアンプに接続
- 4.ステージモニターまたはPAシステムに接続
- 5.ミキサーまたはFRFR機器に接続します。

推奨セットアップ

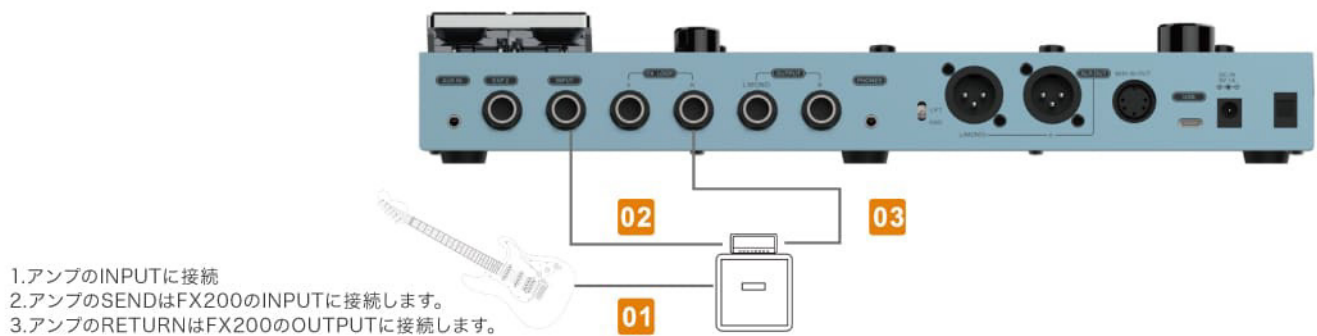
アンプへの接続

FX200をアンプの入力に直接接続し、アンプの前のプリペダルとして使用します。アンプにFX LOOPがない場合は、この設定を使用することをお勧めします。アンプの信号がプリアンプとキャビネットを通過するため、AMPとCABモジュールをオフにします。



FX LOOPへの接続

このセットアップでは、FX200をアンプのFX LOOPのポストペダルとして使用します。FX200のエフェクトは、アンプのプリアンプとパワーアンプの間に置かれます。次のことをお勧めします。



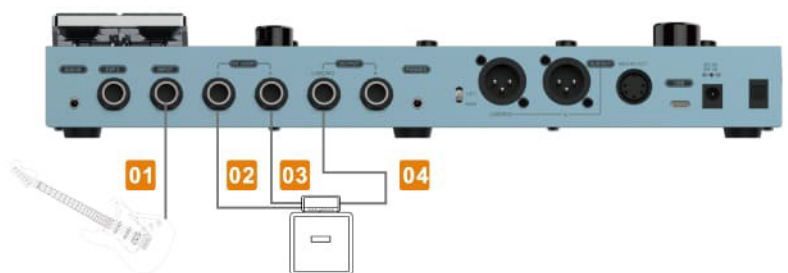
4ケーブルメソッド

FX200にはFX LOOPが内蔵されているため、4ケーブルメソッドでアンプと組み合わせて使用することができます。FX200のエフェクトはプリペダルとポストペダルの役割を果たします。

以下の手順に従って設定してください：

1. FX200のFX LOOPをオンにし、SERIALモードに設定します。
2. 予期せぬ結果を防ぐため、AMP と CAB モジュールの電源を切ります。
3. モジュールを選択し、FX LOOPの前後に配置するように順番を変更する。

1. ギターとの接続
2. FX200のSENDは、アンプのINPUTに接続します。
3. FX200のRETURNは、アンプのSENDに接続します。
4. FX200のOUTPUTはアンプのRETURNに接続されています。



クイックツアー

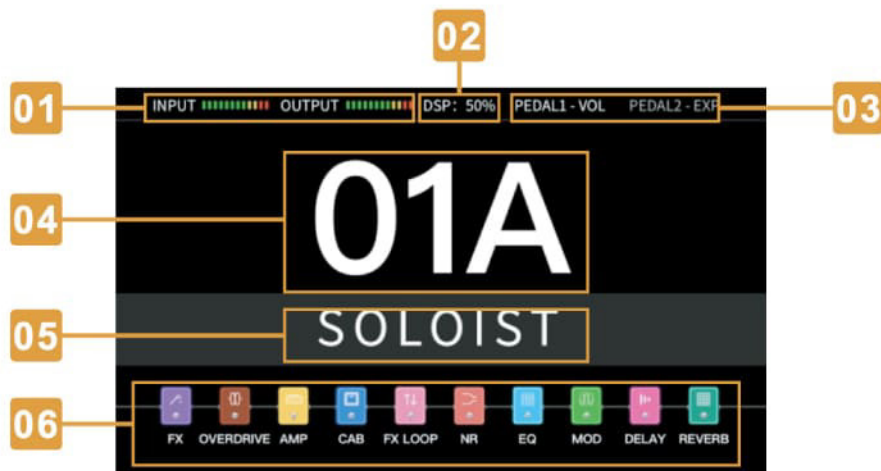
スタートアップ

状況に応じて、上記の推奨セットアップに従って接続を設定します。MASTERノブを最小値まで回します。
電源コードを差し込み、電源スイッチを押してオンにする。

FX200が正常に起動したら、MASTERノブを回して音量レベルを調整します。

ホーム

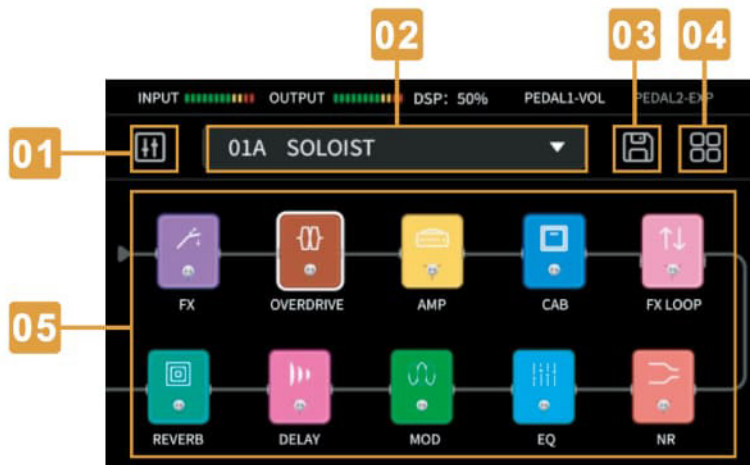
起動後のホーム表示



1. 入力レベルインジケータ
2. DSPソース表示。現在のDSP使用量を示す。
3. エクスプレッション・ペダル表示。PEDAL 1 (内部ペダル) とPEDAL 2 (外部ペダル) の現在の機能を表示します。
4. 現在選択されているプリセット・パッチの番号。
5. 現在選択されているプリセット・パッチ名。
6. エフェクト・チェーン。
画面をタッチしてパラメータを編集する。

インターフェース

画面をタッチしてパラメータを編集する。
編集ページが10秒間アイドル状態になると、FX150はホーム表示に戻ります。



1. クイック設定メニュー
2. プリセット・パッチリスト
3. プリセット保存ボタン
4. 設定メニュー
5. 現在選択されているプリセット・パッチのエフェクト・チェーン

クイックツアー

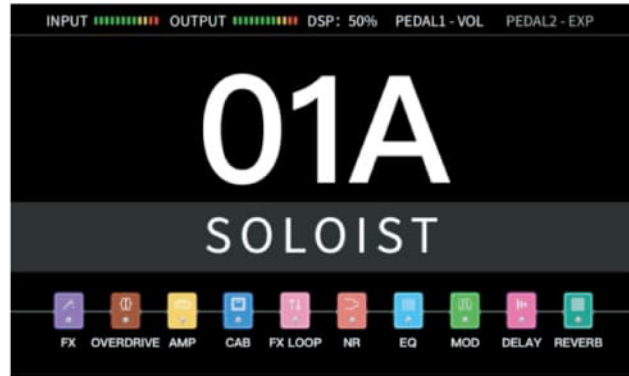
プリセットーンを選択

FX200には10種類のエフェクト・モジュールが搭載されています。エフェクト・チェーンの順序の調整、モジュール・タイプの変更、パラメーターの編集、エクスプレッション・ペダルのコントロール、フットスイッチのカスタマイズ、設定をプリセット・パッチとして保存して使用することができます。100のプリセット・バンクがあり、各バンクに2つのプリセット・パッチ、合計200のプリセット・パッチがあります。

プリセット・パッチは以下の方法で調整できます：

ノブ

VALUEを回してプリセット・パッチを切り替える。



フットスイッチ

ノーマル・モードでは、「^」または「~」ボタンを押して、プリセット・パッチを選択します。ピンクのカーソルは現在選択されているプリセット・パッチを示します。青くハイライトされたプリセット・バンクが現在選択されているバンクです。バンクが選択されたら、フットスイッチAまたはフットスイッチBを押して、現在のバンクからプリセット・パッチを選択し、プリセット・モードを終了します。フットスイッチAとフットスイッチBを直接押すことで、同じバンク内の2つのプリセット・パッチを切り替えることができます。

プリセットを選択せずにプリセット選択モードを終了するには、「^」と「~」を同時に押します。

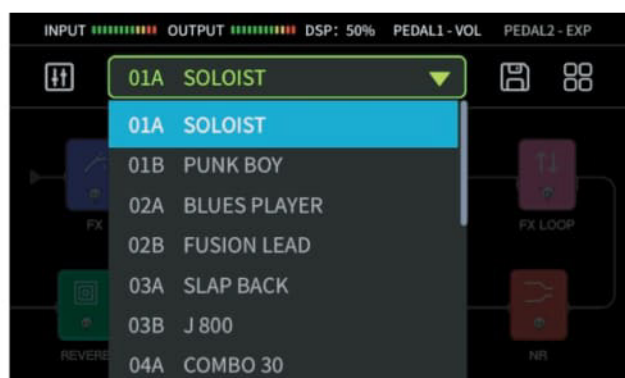
プリセットを選択

FAVORITEプリセット・モードでは、4つのフットスイッチで4つのプリセット・パッチに直接アクセスできます。



プリセットリスト

ホームページのプリセット名をクリックすると、プリセットのドロップダウンリストが開き、上下にスクロールするか、VALUEを回してプリセットを選択します。



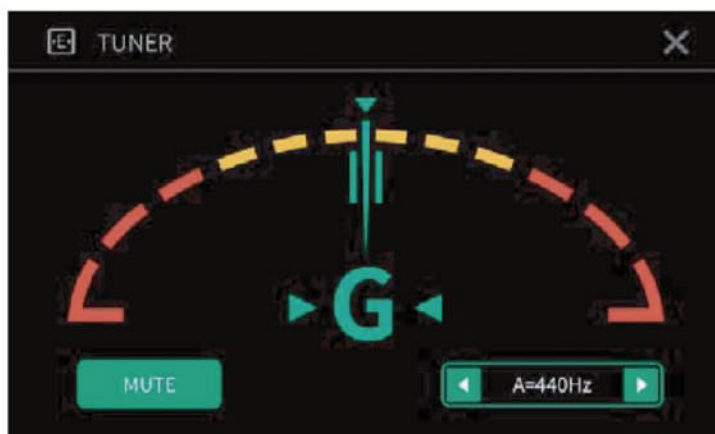
チューナー

「 \wedge 」とフットスイッチAを同時に長押ししてTUNERページに入ります。

音符を弾くと、スクリーンに現在の音名とピッチが表示されます。カーソルは、チューニングの目標を示す中央の位置に留まります。

左下のMUTEをクリックすると、MUTEとBYPASSが切り替わります。デフォルトではMUTEに設定されています。

右下の矢印アイコンをクリックして周波数を調整します。デフォルトでは440Hzに設定されています。435Hzから445Hzまで調整できます。



LOOPER

FX200には52秒のステレオ・ルーパーが内蔵されています。フットスイッチA+Bを2秒間押し続けると、ルーパー機能に入ります。



左上のプリセット名をクリックし、VALUE を回してプリセット音色を選択します。REC VOLをクリックしてドラッグするか、VALUEを回して録音音量レベルを調整します。PLAY VOLをクリック&ドラッグするか、VALUEを回して再生音量を調整します。

ルーパーが空になったら、「 \wedge 」ボタンを押して、最初のレイヤーの録音を開始します。フットスイッチLEDインジケーターはREDのまま、スクリーンにRECが強調表示され、プログレスバーとタイマーがスタートします。

RECモードで、「 \wedge 」を押して別のレイヤーをダビングします。フットスイッチのLEDインジケーターが紫色に変わり、スクリーンにDUBがハイライト表示されます。プログレスバーが紫色で表示されます。

RECまたはDUBモードで、「 \wedge 」を押し込んでPLAYを開始します。フットスイッチLEDインジケーターが青色に点灯します。スクリーンにPLAYがハイライト表示され、プログレスバーが青色で表示されます。

「 \wedge 」フットスイッチLEDインジケーターが黄色に点滅し、スクリーンにSTOPがハイライト表示されます。プログレスバーとタイマーはクリアされます。

フットスイッチAを押してONE SHOT機能をオンにすると、フットスイッチのLEDインジケーターが黄色に点灯します。PLAYを開始すると、録音したトラックを1回だけ再生して停止します。再生が終了するとONE SHOTは消灯します。最初の再生中にフットスイッチAを押すとONE SHOTが解除され、録音したトラックのループ再生が始まります。

フットスイッチAを2秒間押し続けると、録音されたトラックがすべてクリアされます。クリア後、フットスイッチのLEDインジケーターが白色に点灯し、スクリーンにCLEARが強調表示されます。

注釈

- 録音容量がいっぱいになると(52秒)、ルーパーは録音を停止し、自動的にPLAYに切り替わります。
- FX200の電源を切るとルーパー・データはクリアされます。
- MENU-SYSTEM-LOOPERでルーパーのモードを設定できます。ルーパーをエフェクト・チェーンの最初のポジションに配置し、パラメーター調整のためにドライ・ギター信号を録音する場合はPREモード、ルーパーをエフェクト・チェーンの最後のポジションに配置し、エフェクトの調整が録音信号の再生に影響しないようにする場合はPOSTモードとなります。

クイックツアー

プリセット編集

On/Off

編集ページで、クリックしてモジュールを選択し、VALUEを押すか、パラメータページの電源スイッチアイコンをクリックして、現在のモジュールをOn/Offする。

パラメーター編集

編集ページで、クリックしてモジュールを選択し、モジュールをもう一度クリックしてパラメータ編集メニューに入る。
パラメータページで、電源スイッチをクリックして、現在のモジュールの電源をオン/オフします。
モジュールタイプをクリックしてドロップダウンメニューを開き、上下にスクロールするか、VALUEを回してモジュールタイプを選択します。
パラメータエリアをクリック&ドラッグして値を調整するか、VALUEを回転させて調整することができます。
右上の「x」をクリックしてパラメータ編集ページを終了します。



エフェクトチェイン

編集ページで、クリックしてモジュールを選択し、VALUEノブを回して順番を調整します。

注釈

- 1.エフェクト・チェーンの順番を変更する場合は、手動で保存する必要があります。
- 2.GLOBAL CABのLEFTとRIGHTの設定が異なる場合、CABモジュールは以下のようになる。をエフェクト・チェーンの最後に配置する。

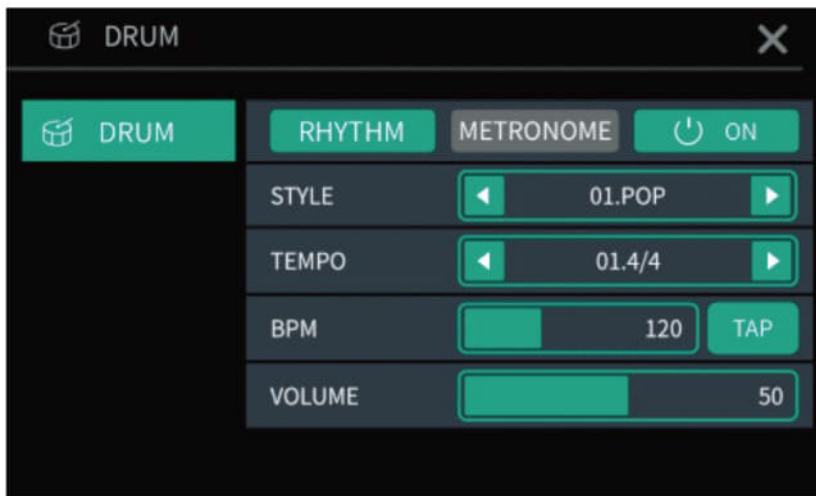
プリセット

プリセットの編集が終わったら、右隅のSAVEアイコンをクリックして、プリセット保存画面に入ります。
左上のプリセット番号をクリックしてプリセットリストを開き、上下にスクロールするか、VALUEを回して保存するプリセットスロットを選択します。
プリセットの名前を変更できます。15文字までサポートします。OKをクリックして保存を確定し、編集ページに戻ります。また、右上の「x」をクリックして保存をキャンセルし、編集ページに戻ることもできます。



ドラム

FX200には8つの異なるスタイルのドラム・グループがあります。各スタイルには10種類のリズム・タイプがあります。ルーバー・メニューでフットスイッチ B を押してドラムマシンのオン/オフを切り替えます。フットスイッチLEDインジケーターが青色に点灯します。フットスイッチBを2秒間長押しし、TAP TEMPOモードに入ります。フットスイッチLEDインジケーターが緑色に点滅します。このモードでは、フットスイッチを2回以上押してドラムマシンのスピードを設定します。BPM値と点滅の速度は、現在の演奏速度を示します。



このページで、RHYTHM または METRONOME を押して選択します。
電源スイッチアイコンを押して、ドラムマシンまたはメトロノームをオン/オフします（フットスイッチBを押すのと同じです）。

STYLE	ドラムマシンのスタイルを選択します。左右の矢印をクリックするか、VALUEを回してスタイルを選択します。
TEMPO	ドラム・マシンまたはメトロノームのリズム・タイプを選択します。
BPM	ドラムマシンやメトロノームの演奏速度を設定します。押してドラッグするか、VALUEを回してスピードを調整します。TAP TEMPOでスピードを設定する場合は、TAPアイコンをクリックします（TAP TEMPOでフットスイッチBを押すのと同じです）。
VOLUME	ドラムマシンやメトロノームの音量レベルを調整します。VOLUMEを押しながらドラッグするか、VALUEを回して音量レベルを調整します。デフォルトでは50に設定されており、0～100の範囲で調整できます。

右上の「x」をクリックしてルーバーのページに戻ります。

LOOPER & DRUM

FX200はDRUMとLOOPERを同時にオンにして練習やレコーディングをすることができます。録音したトラックとドラムマシンを同期させるには、以下の手順に従ってください。

- ドラムマシンをオンにし、リズムタイプを選択します；
- ルーバーのページで録音を開始すると、ドラムマシンが再起動し、ルーバーと同期します。
- 小節の終わりあたりでPLAYまたはDUBを行うと、ルーバーがドラムマシンと同期してプレイする。
- 現在の小節の1/2より少ないときにPLAYまたはDUBを行うと、ドラムマシンとルーバーは最初から再スタートします。録音したトラックの最後の小節は削除されます。
- 現在の小節の1/2以上の時にPLAYまたはDUBを行うと、現在の小節が終了するまで録音が続き、その後PLAYまたはDUBが開始されます。
- ルーバーを止めてからPLAYすると、ドラムマシンはルーバーと同期して最初からスタートします。

例えばリズムは4/4に設定されています。ドラムマシンをオンにします。3小節目の1拍目からRECを開始し、PLAYまたはDUBを押すと、ルーバーとドラムマシンが最初から再開され、3小節目の1拍目が削除されます。したがって、録音されるのは2小節だけです。

小節目の3拍目でPLAYまたはDUBを押すと、ルーバーは3小節目が終わるまで録音を続け、その後PLAYまたはDUBを押します。したがって、この3小節は完全に録音されます。

シンク機能は以下の状況には対応していません

- 1.ドラムマシンの電源を入れる前に、ルーバーはすでに録音中です。
- 2.ドラムマシンがルーバーと同期すると、ドラムマシンのスピードが変化します。
- 3.ドラムマシンがルーバーと同期すると、ドラムマシンのスタイルやリズムタイプが変更されます。

FX LOOP

FX200にはFX LOOPが内蔵されており、外部ペダルや4ケーブルメソッドで接続することができます。編集ページでFX LOOPモジュールを選択し、クリックしてパラメーター・ページに入ります。



SEND LEVEL をクリック&ドラッグして FX LOOP の出力音量を調整します。デフォルトでは0dBに設定されています。
RETURN LEVEL をクリック&ドラッグして、FX LOOP の入力音量レベルを調整します。デフォルトでは0dBに設定されています。
PARALLELモードでは、MIXを調整し、内部信号と外部信号のミックス率を設定します。(内部信号と外部信号の音量レベルは同じです)。
他のモジュールと同様に、エフェクト・チェーン内の FX LOOP の位置を変更することができます。FX LOOPモジュールを選択し、VALUEを回して位置を変更します。



ペダル

FX200にはペダルが内蔵されており、EXP2インプットから外部ペダルを接続して使用することも可能です。接続には1/4" TRSケーブルの使用を推奨します。MENU ページで PEDAL を選択し、ペダルを設定します。内部ペダルはPEDAL 1、外部ペダルはPEDAL 2です。

EXPRESSION エクスプレッション・ペダルを使って、1つのパラメーターまたは複数のパラメーターを同時にコントロールすることができます。



内部ペダルを設定します

左側のエリアでPEDAL 1を選択し、上部のEXPRESSIONを選択すると、EXPのLEDインジケーターが点灯します。モジュール、パラメーター、コントロールしたい範囲を選択します。設定が完了すると、パラメータがハイライト表示され、外部エクスプレッション・ペダルを動かしてパラメータをコントロールできるようになります。

外部ペダルを設定します

PEDAL 2のエクスプレッション・ペダル設定はPEDAL 1と同じ。

エクスプレッション・ペダルでコントロールされているパラメーターをキャンセルしたい場合は、クリックしてパラメーターを選択し、DELETEをクリックしてキャンセルします。パラメータはハイライトされなくなります。

WAH

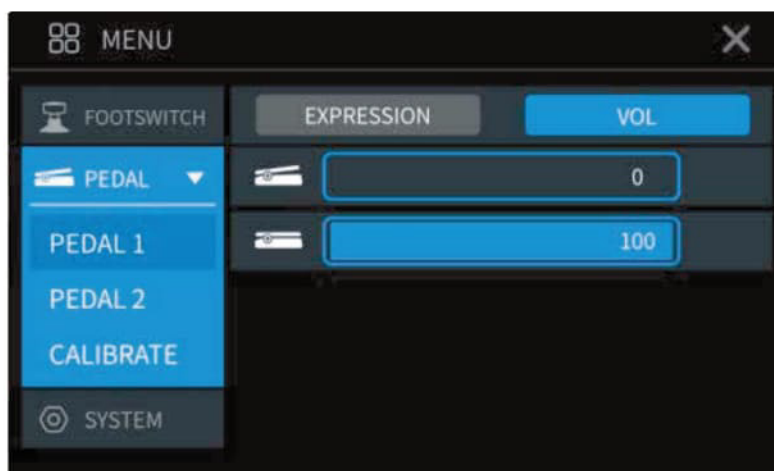
編集画面でFXを選択し、95 CRYまたは535 CRYモジュールを選択する。EXPRESSIONを選択し、FXに設定し、POSITIONを選択します。このモードでは、エクスプレッション・ペダルを強く踏んでオン/オフすることができます。

注意事項

エクスプレッション・ペダルの設定変更は手動で保存する必要があります。

VOLUME

内蔵ペダルをボリューム・ペダルとして設定します。マスター出力の音量レベルを内蔵ペダルでコントロールできます。



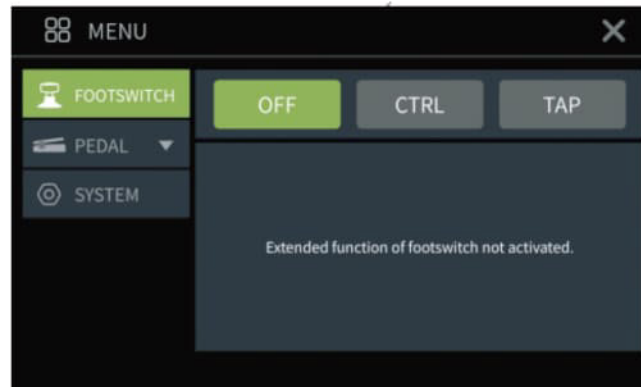
PEDALを選択し、VOLを選択します。EXPのLEDランプが消灯します。最小値と最大値を設定できます。0は出力信号オン、100は最大音量レベルです。注意事項EXP LEDインジケーターがOnの時、ペダルはエクスプレッション・ペダルとして動作します。EXP LEDインジケーターがOffの場合は、ボリューム・レベル・ペダルとして動作します。

注意事項EXP LEDインジケーターが点灯している場合、ペダルはエクスプレッション・ペダルとして動作します。EXP LEDインジケーターが消灯している場合、ペダルはボリューム・レベル・ペダルとして動作します。

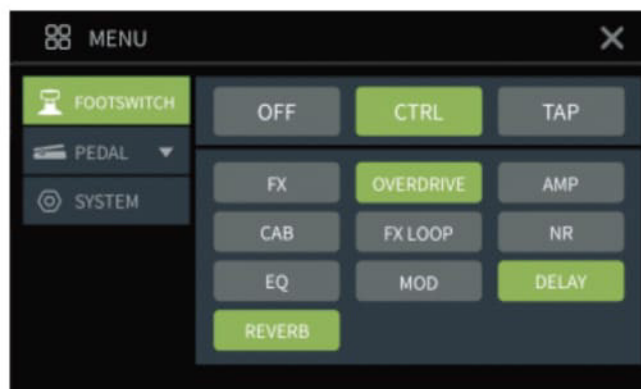
FOOTSWITCH

フットスイッチの機能を拡張し、フットスイッチでより多くのパラメーター/機能をコントロールできるようにすることができます。右上のアイコンをクリックしてMENUページに入ります。FOOTSWITCHを選択して設定します。OFF、CTRL、TAPから選択できる。

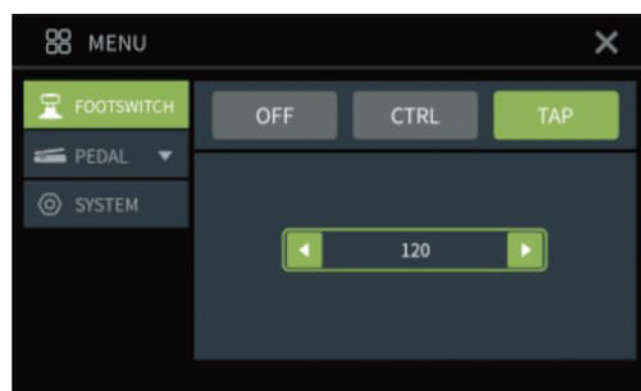
OFF フットスイッチの拡張機能をオフにします。フットスイッチを押してもCTRLまたはTAP機能は作動しません。フットスイッチLEDインジケータは緑色のままです。



CTRL フットスイッチをCTRL機能に設定する場合に選択します。以下のモジュールを選択して設定します。選択されたものがハイライトされます。次に、現在選択されているプリセットのフットスイッチを押して、モジュールのオン/オフを切り替えることができます。フットスイッチのLEDインジケータが青と紫に切り替わり、モジュールのオン/オフを示します



TAP フットスイッチをTAMP TEMPOファンクションとして設定し、ディレイ効果のスピードを設定することができます。フットスイッチLEDインジケータがREDに点滅します。フットスイッチを2回以上押して、ディレイタイムを設定します。矢印アイコンをクリックするか、VALUEを回してディレイ・タイムを正確に調整します。下の数字はBPM値を表します。フットスイッチのLEDインジケータは、現在のスピードに応じて点滅します。



注釈

- 1.フットスイッチの設定は、変更後に現在のプリセット・パッチに保存する必要があります。
- 2.プリセットされたフットスイッチを長押しすることで、CTRLとTAPの切り替えが可能。
- 3.TAP機能を使用する前に、DELAYエフェクトのSUB-D機能をオンにしてください。

ペダル

キャリブレーション 初めて使用する前に、ペダルのキャリブレーションを行ってください。ペダルが正しく動作しない場合は、再度キャリブレーションを行ってください。



CALIBRATE (キャリブレーション) を選択します。PEDAL 1 (内部ペダル)、PEDAL 2 (外部ペダル) から校正を選択します。

MIN: 最小ポジションを設定します。MINをクリックして選択し、ペダルをヒールダウン位置まで動かします。

MAX: 最大ポジションを設定します。クリックしてMAXを選択し、ペダルをつま先下がりの位置に動かします。PRESSペダルを踏み込む圧力を設定します。PRESSをクリックして選択し、お好みに合わせてペダルを大きく踏み込みます。

OKをクリックしてキャリブレーションを終了します。キャリブレーションに成功すると "Pedal setting completes" と表示されます。失敗した場合は "Please set again" と表示されますので、上記の手順で再度キャリブレーションを行ってください。

システム

MENU ページで SYSTEM を選択し、システム設定メニューに入ります。このメニューでは、グローバル設定を調整することができます。下の矢印をクリックするとページがスクロールします。



明るさ ディスプレイの明るさを調整します。デフォルトでは100に設定されています。



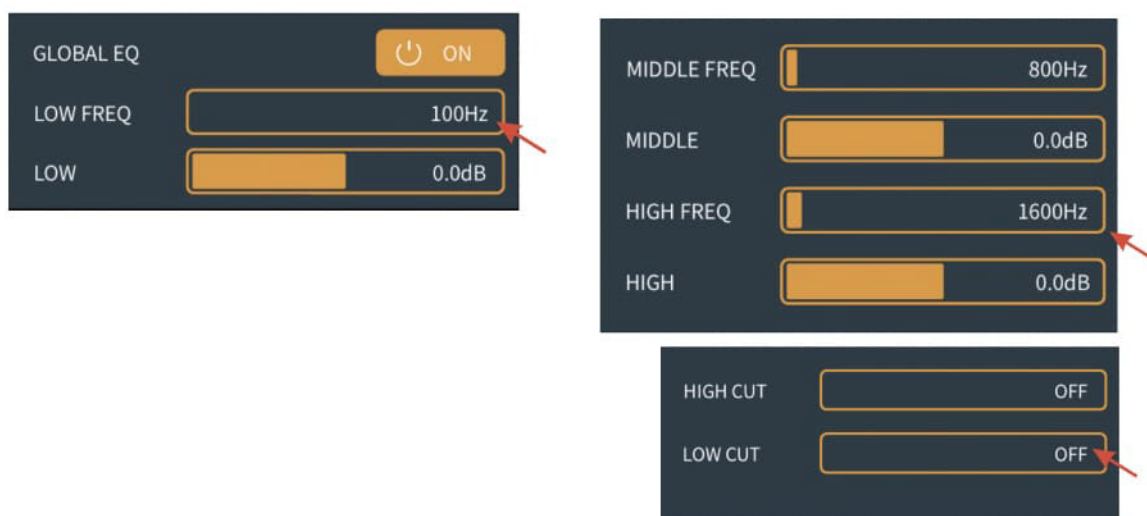
入力レベル グローバル入力レベルを-60dBから+6dBの範囲で調整します。デフォルトでは0に設定されています (エンハンスメントやダンピングなし)。



GLOBAL EQ 全出力 (OUTPUT/XLR OUT/PHONES) 共通のグローバルEQ設定。状況に応じて素早く音色を調整できます。

電源スイッチアイコンをクリックしてオンにします。3つのバンドは同じレンジです：40～20000Hz、GAINレンジは-12dB～12dBです。

HIGH CUTはオン/オフでき、範囲は20000-3000Hz、デフォルトではオフに設定されている。LOW CUTはオン/オフでき、範囲は40-1000Hz。デフォルトではオフに設定されています。



注意事項：グローバルEQがオフの場合、パラメーターの調整はできません。

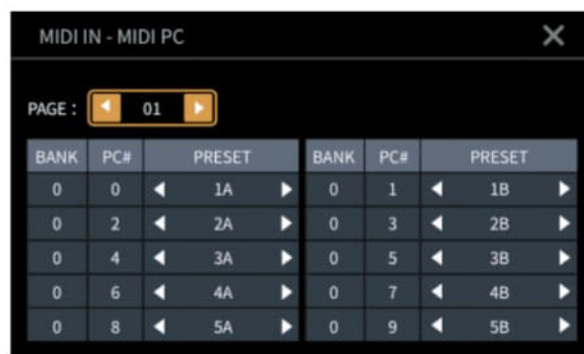
システム

MIDI設定

FX200のMIDIポートを設定します。

MIDI INとMIDI OUTから選択します。MIDI INに設定すると、MIDI経由でFX200を外部機器からコントロールし、プリセットの変更やパラメーターのコントロールができます。MIDI OUTに設定すると、FX200はMIDI経由で他の外部機器を制御し、プリセットの切り替え(MIDI PC#)を行うことができます。

MIDI IN モードで、MIDI PC をクリックして選択し、MIDI マッピング グリッドにアクセスします。ページをスクロールしてすべての MIDI コードに目を通すことができます。



MIDI CCをクリックしてCCコードリストにアクセスします。ページをスクロールしてすべての MIDI コードに目を通すことができます。



MIDI OUTモードでMIDI PCをクリックし、PCコードリストに入ります。ページをスクロールして全てのPCコードを確認することができます。



MIDI CHANNEL: ミディ・チャンネル

MIDI CHANNEL ブロックをクリックして MIDI チャンネルのドロップダウンメニューを開きます。16 チャンネルから選択することも、OMNI (全チャンネルが選択されていますが、MIDI IN モードでのみ使用可能) に設定することもできます。

シンククロック

MIDI クロック機能のオン/オフを切り替えます。オンの場合、MIDI INモードではFX200はMIDIクロック信号を受信し、外部機器と同期することができます。MIDI OUTモードでは、FX200が制御する外部機器と同期するためのMIDIクロック信号を送信することもできます。

システム

CAB SYNC

CAB SYNC を押すと、AMP モジュールと CAB モジュールの SYNC 機能が切り替わります。これがオンの場合、パラメーター・ページで別のアンプ・モデルに切り替えると、キャビネット・シミュレーションは対応する選択に切り替わり、現在選択されているアンプ・モデルとペアリングされます。オフの場合、アンプ・モデルを変更しても、キャビネット・シミュレーションはアンプ・モデルと同期しません。



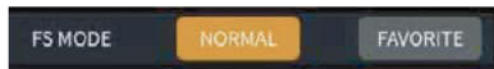
GLOBAL CAB

この機能はすべての出力 (OUTPUT/XLR OUT/PHONES) の信号を対象とします。左/右チャンネルの CAB SIM のオン/オフを決定できます。ハイライトされている場合、現在のチャンネルがCAB SIMを通過することを意味し、そうでない場合、現在のチャンネルはCAB SIMをバイパスします。



注釈:左チャンネルと右チャンネルの設定が異なる場合、CABはエフェクト・チェーンの最後に配置され、エフェクト・チェーン内で移動することはできません。

FSモード



NORMAL 従来のフットスイッチ・モード。「 \wedge 」または「 \vee 」を押してプリセット・バンクを循環させ、フットスイッチ A または B を押してプリセット・パッチを選択する。

FAVORITE お気に入りのプリセット・パッチを4つのフット・スイッチに割り当てることができます。このモードでは、フットスイッチを長押しし、プリセット・パッチを選択します。VALUEを長押しして確認したら、フットスイッチを押して、先ほど設定したお気に入りのプリセット・パッチにアクセスできます。

DLY REV SPILL-OVER

ディレイ/リバーブ・エフェクトのトレイル機能を設定できます。オンに設定すると、ディレイ/リバーブ・エフェクトのオン/オフ時や、ディレイ/リバーブ・エフェクトをかけた2つのプリセットを切り替えた時に、プリセットの音色が自然にフェードアウトします。



注釈

1.ディレイ/リバーブを使った2つのプリセット・パッチを切り替える場合、最良の結果を得るためには、それらのディレイ/エフェクト・モジュールのパラメーター設定が極端に異なるようにする必要があります。

2.2つのプリセット・パッチのディレイ/リバーブ・タイプが異なる場合、これらのプリセットを切り替えても、プリセット・トーンのトレイルは自然にフェードアウトしません。

LOOPER POSITION

ルーバー・モジュールの位置を設定します。

PRE: プリモード。ルーバーはエフェクト・チェーンの最初のモジュールとして配置されます。ルーバーはドライ信号を直接録音します。エフェクト・チェーンのパラメーターを調整することで、結果を変更できます。

POST: ポスト・モード。ルーバーはエフェクト・チェーンの最後に配置されます。ルーバーは、従来のルーバーのように、エフェクト・チェーンで処理された信号を録音します。デフォルトではPOSTに設定されています。



ファームウェアアップデート

FX200のファームウェアをアップデートするには、FLAMMAの公式ウェブサイトから最新版のエディターソフトウェアをダウンロードしてください。アップデート手順は以下の通りです。

- 1.FX200エディターソフトウェアの最新バージョンをダウンロードします。
- 2.ファイルを解凍してインストールしてください。旧バージョンをインストールしている場合は、新バージョンのインストール先が旧バージョンと同じであることを確認してください。
- 3.インストールが完了したら、USBケーブルでFX200をコンピュータに接続します。
- 4.VALUEを長押しし、電源スイッチを押してFX200の電源を入れます。FX150がアップデートモードで起動するのがわかります。
- 5.FX200エディタソフトを開き、STARTをクリックしてアップデートを確認します。
- 6.ロードに数秒待つ。
- 7.アップデートが完了すると、FX200は自動的に再起動します。その後、コンピュータに接続し、バックアップファイルをエクスポートすることができます。

注釈

- 1.アップデートを行ってもFX200のファームウェアのバージョンが変わらない場合は、新しいバージョンのFX200エディタが正常にインストールされているかどうかを確認してください。まだ古いエディターソフトのままであれば、エディターソフトを完全にアンインストールしてから、新バージョンのアップデートソフトをインストールしてみることをお勧めします。
- 2.予期せぬ問題を避けるため、アップデート中に電源を切ったり、アップデートを中断したりしないでください。

システム

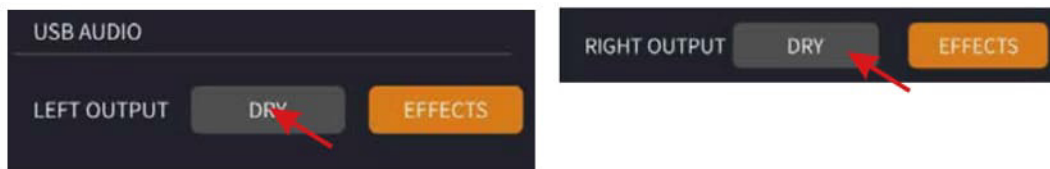
USB AUDIO

FX200は24ビット44.1kHzオーディオ・インターフェースとして動作し、低レイテンシーのレコーディングが可能です。WindowsおよびMacOSプラットフォームのほとんどのDAWで動作します。

Windowsユーザーは、直接録画/モニターするためのASIOドライバーをインストールする必要があります。FLAMMA公式サイト www.flammainnovation.com、FX200のページよりダウンロードしてください。
Macユーザーはインストールする必要はありません。

LEFT/RIGHT OUTPUT: USBオーディオ出力の左右チャンネルを設定します。

Dry: ギターから直接出力される信号 (エフェクトを含む)。FX200を経由する信号にはEFFECTS。



REC VOL 録音音量レベル。デフォルトでは50に設定されており、USBオーディオとDSP信号の音量レベルは同じです。0に設定すると、USBオーディオ出力はミュートされます。

PLAY VOL 再生音量レベル。デフォルトで50に設定されており、USBオーディオとDSP信号の音量レベルは同じで、0に設定するとDSP信号はミュートされます。

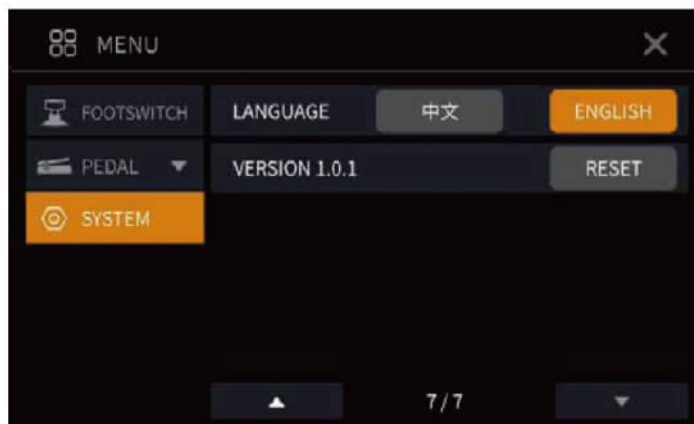
MIX ダイレクトモニタリングとUSBオーディオ再生のミックスレート。デフォルトでは50に設定されています。に設定すると、ダイレクトモニタリングとUSBオーディオ再生の音量レベルが1:1になります。0に設定すると、ダイレクトモニタリングのみ動作します。100に設定すると、USBオーディオ再生のみ動作します。



システム

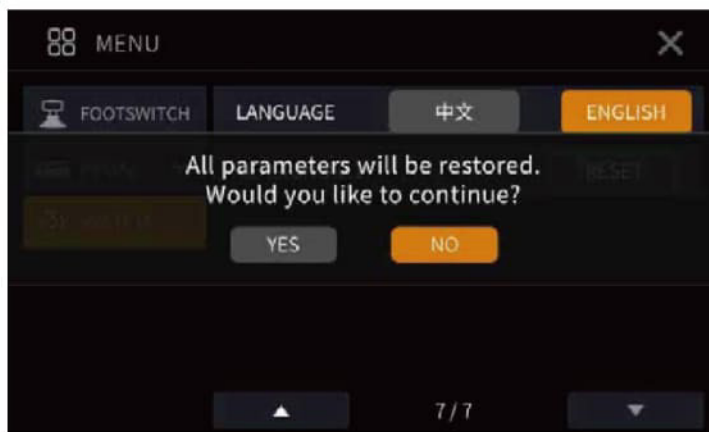
言語

表示言語は中国語と英語から選択できる。



リセット

RESETをクリックし、YESを選択してFX200を工場出荷時の設定にリセットします。リセットをキャンセルするにはNOを選択します。

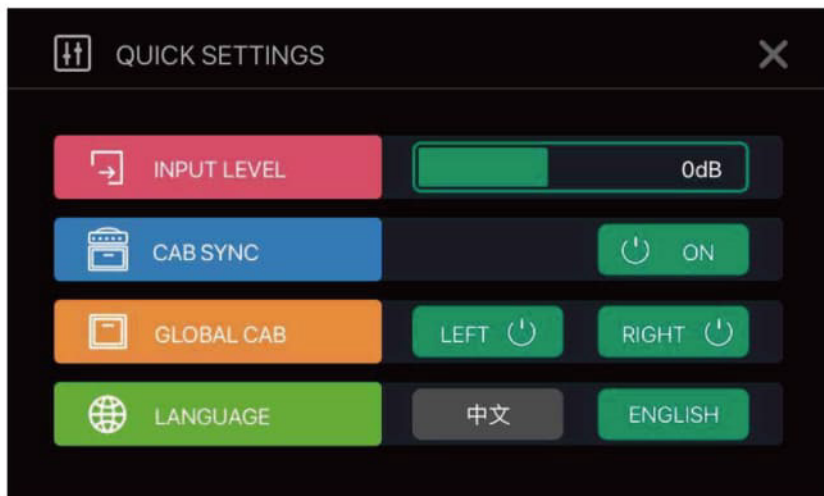


注釈

- 1.アクトリー・リセットは、すべてのユーザー・プリセット・パッチとインポートしたサードパーティ製IRファイルをクリアします。リセットの前に、コンピューターエディターソフトウェアでFX200をバックアップすることをお勧めします。
- 2.予期せぬ問題を避けるため、リセット手順中はFX200の電源を切らないでください。

クイック設定

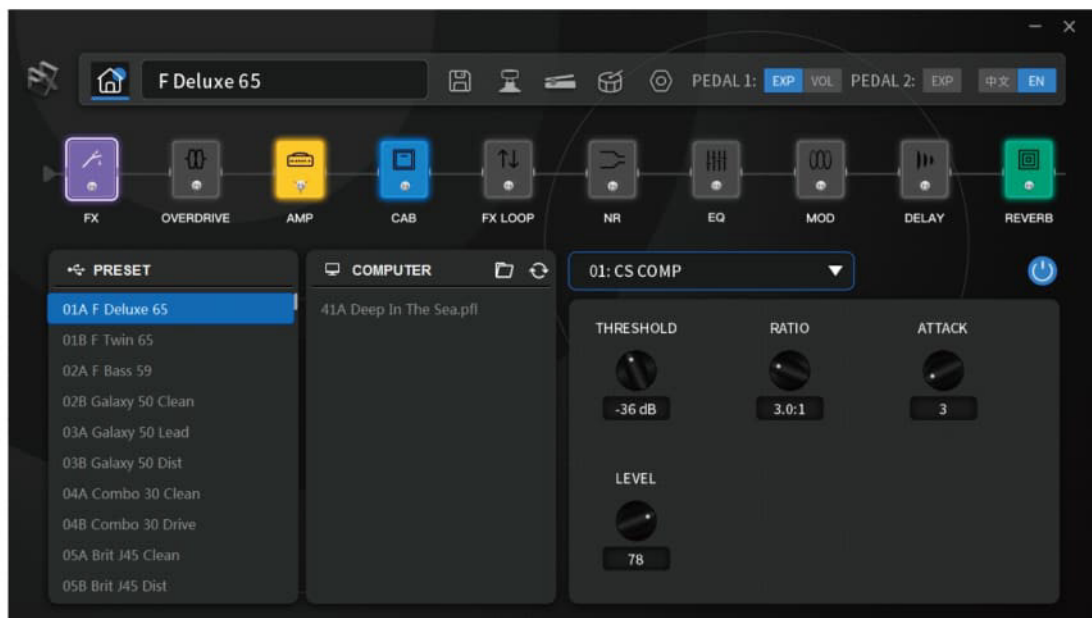
編集ページのアイコンをクリックすると、クイック設定メニューに入ります。このメニューでは、INPUT LEVEL、CAB SYNC、GLOBAL CAB、FS MODE などのシステム設定を素早く行うことができます。



FX 200 エディター・ソフトウェア

FX200では、トーン編集、プリセット管理、プリセット・バックアップ、ファームウェア・アップデート、サードパーティ製IRファイルのロードに、コンピューター上のエディター・ソフトウェアを使用することができます。

FLAMMAのウェブサイトwww.flammainnovation.com にログインして、FX200のページに入り、エディターソフトを入手してください。



エフェクト一覧

FX		
Num	Effect Name	Description
1	CS COMP	Based on BOSS® CS-3 compressor effect
2	JR COMP	Based on Diamond® Comp Jr compressor effect
3	AUTO WAH	Automatic wah effect
4	95 CRY	Based on Dunlop® GCB 95 wah effect
5	535 CRY	Based on Dunlop® Cry Baby 535Q wah effect
6	TALK AH	Mimic the voice of "AH" wah effect
7	TALK OH	Mimic the voice of "OH" wah effect
8	DYNAMIC WAH	According to the dynamic of play to generate a wah effect automatically

OVERDRIVE		
Num	Effect Name	Description
1	SMOOTH BOOST	Based on Xotic® AC Booster
2	CLEAN BOOST	Based on Xotic® RC Booster
3	DARK RAT	Based on Pro Co® Rat distortion effect
4	GOLD BOX	Based on Klon® Centaur Gold overdrive effect
5	RIOTER	Based on Suhr® Riot distortion effect
6	SCREAMER 808	Based on Ibanez® TS808 overdrive effect
7	TUBE OD	Based on B.K.Butler® Tube Drive tube overdrive effect
8	ML ZONE	Based on BOSS® Metal Zone distortion effect
9	ML MASTER	Based on Digitech® Metal Master distortion effect
10	TIGHT GAIN	Based on Amptweaker® TightRock distortion effect
11	TIGHT METAL	Based on Amptweaker® TightMetal distortion effect
12	VX SILVERY	Based on VOX® Tube OD overdrive effect
13	DIRECT OD	Based on Barber® Direct Drive overdrive effect
14	OBSESSIVE OD	Based on Fulltone® OCD distortion effect
15	UK SHREDDER	Based on Marshall® Shred Master distortion effect
16	FULL DS	Based on Fulltone® Full-Drive 2 distortion effect
17	RED 500	Based on Fulltone® GT-500 distortion effect
18	JIMMY DRIVE	Based on Paul Cochrane® Timmy OD overdrive effect
19	BEEBEE PREAMP	Based on Xotic® BB Preamp overdrive effect
20	BEEBEE PLUS	Based on Xotic® BB Plus distortion effect
21	ROUND FUZZ	Based on Dunlop® Fuzz Face fuzz effect
22	SILVERY FUZZ	Based on EHX® Big Muff fuzz effect

NR		
Num	Effect Name	Description
1	SUPPRESSOR	ディストーション後のノイズゲート
2	REDUCER	ディストーション前のノイズゲート
3	GATE	ディストーション後のノイズゲート

EQ		
Num	Effect Name	Description
1	6 BAND EQ 1	6バンドギターイコライザー。各バンドは±12dBのゲインを提供します。
2	6 BAND EQ 2	6バンドギターイコライザー。各バンドは±12dBのゲインを提供します。
3	6 BAND EQ 3	6バンドギターイコライザー。各バンドは±12dBのゲインを提供します。
4	4 BAND CUSTOM	4バンド・カスタマイズ・イコライザー。各バンドは±12dBのゲイン。

MOD		
Num	Effect Name	Description
1	70S CHORUS	クラシックなアナログ・コーラス・エフェクト
2	TRI CHORUS	高音コーラス効果
3	ANA FLANGER	標準的なアナログ・フランジャー・エフェクト
4	JET FLANGER	ジェット・フランジャー効果
5	70S PHASER	標準的なサイン波フェイザー・エフェクト
6	STEP PHASER	矩形波フェイザー・エフェクトがベース
7	HI-CUT PHASER	高周波カット・フェイザー・エフェクト
8	PITCH VIBRATO	標準的なビブラト・エフェクト
9	VIBE ROTARY	ビブラト・ロータリー・エフェクト
10	TREMOLO	クラシック・トレモロ・エフェクト
11	STAMMER	矩形波シャッター・エフェクト
12	DETUNE	ピッチシフター・エフェクト
13	RING	リング・モジュレーション・エフェクト
14	LOFI	低サンプリレート・エフェクト
15	SLOW GEAR	スローアタック・エフェクト
16	BAND-PASS	バンドパスフィルター
17	LOW-CUT	低域カットフィルター
18	HI-CUT	高周波カットフィルター
19	PITCH MONO	モノ・ピッチ・シフター・エフェクト
20	PITCH POLY	ポリフォニック・ピッチシフター・エフェクト

DELAY		
Num	Effect Name	Description
1	ANALOG	暖かくソフトなアナログ・ディレイ・エフェクト
2	REAL	リアル・エコー・ディレイ・エフェクト
3	TAPE	テープ・ディレイ
4	DIGITAL	標準的なデジタル・ディレイ・エフェクト
5	PINGPONG	ステレオライクなピンポン・ディレイ・エフェクト
6	MOD	変調によるデジタル・ディレイ
7	REVERSE	リバース・ディレイ
8	DYNAMIC	楽器のダイナミクスに反応するデジタル・ディレイ
9	DUAL	独立コントロールの2ディレイ

REVERB		
Nmb	Effect Name	Description
1	SPRING	クラシック・スプリング・リバーブ・タンク
2	ROOM	スモールルーム・リバーブ
3	HALL	ラージ・ルーム・リバーブ
4	CHURCH	巨大なルーム・リバーブ
5	PLATE	スタジオスタイルのプレート・リバーブ
6	CAVE	広々とした雰囲気のリバーブ
7	MOD	モジュレーション付きリバーブ

エフェクト一覧

AMP		
Num	Effect Name	Description
1	US 65 DR	Based on Fender® 65 Deluxe Reverb preamp section
2	US 65 TR	Based on Fender® 65 Twin Reverb preamp section
3	59 BASSGUY	Based on the Fender® 59 Bassman preamp section.
4	GALAXY 50 CL	Based on Supro® Galaxy Combo channel 1
5	GALAXY 50 OD A	Based on Supro® Galaxy Combo channel 2 (Boost on).
6	GALAXY 50 OD B	Based on Supro® Galaxy Combo channel 2 (Boostoff)
7	UK COMBO CL	Based on Vox® AC30 clean channel
8	UK COMBO OD	Based on Vox® AC30 overdrive channel
9	BRIT J45 CL	Based on Marshall® JTM 45 clean tone
10	BRIT J45 DS	Based on Marshall® JTM 45 overdrive tone
11	BRIT J800	Based on Marshall® JCM 800 preamp section
12	BRIT J900 CL	Based on Marshall® JCM 900 clean tone
13	BRIT J900 DS	Based on Marshall® JCM 900 distortion tone
14	BRIT J410 CL	Based on Marshall® JVM 410 clean channel
15	BRIT J410 DS	Based on Marshall® JVM 410 distortion channel
16	BRIT PLEXI	Based on Marshall® Plexi 100 preamp section
17	BRIT M9004 CL	Based on Marshall® MGP 9004 preamp clean tone
18	BRIT M9004 CR	Based on Marshall® MGP 9004 preamp Crunch tone
19	BRIT M9004 DS	Based on Marshall® MGP 9004 preamp distortion tone
20	FRYMAN 50 CL	Based on Friedman® BE50 clean tone
21	FRYMAN 50 CR	Based on Friedman® BE50 Crunch tone
22	FRYMAN 50 DS	Based on Friedman® BE50 distortion tone
23	FRYMAN 100 CL	Based on Friedman® BE100 clean tone
24	FRYMAN 100 OD	Based on Friedman® BE100 Crunch tone
25	FRYMAN 100 DS	Based on Friedman® BE100 distortion tone
26	Archean 100 CL	Based on Paul Reed Smith® Archon 100 clean channel
27	Archean 100 DS	Based on Paul Reed Smith® Archon 100 Lead channel
28	CITRUS 100 CL	Based on Orange® TH100 clean channel
29	CITRUS 100 DS	Based on Orange® TH100 distortion channel
30	CUSTOM 100 CL	Based on Custom Audio Amplifiers® OD100 clean tone
31	CUSTOM 100 DS	Based on Custom Audio Amplifiers® OD100 distortion tone
32	US CLASSIC CL	Based on Peavey® Classic 50 clean channel
33	US CLASSIC DS	Based on Peavey® Classic 50 distortion channel
34	5153 GREEN	Based on EVH® 5150 III clean channel
35	5153 BLUE	Based on EVH® 5150 III Crunch channel
36	5153 RED	Based on EVH® 5150 III distortion channel
37	SOLO 100 DS A	Based on Soldano® SLO 100 Crunch channel
38	SOLO 100 DS B	Based on Soldano® SLO 100 distortion channel
39	CALI TEXAS CL	Based on Mesa Boogie® Lone Star channel 1
40	CALI TEXAS OD	Based on Mesa Boogie® Lone Star channel 2
41	CALI REC CL	Based on Mesa Boogie® Triple Rectifier clean channel
42	CALI REC DS	Based on Mesa Boogie® Triple Rectifier distortion channel
43	CALI V CR	Based on Mesa Boogie® Mark V Crunch tone
44	CALI V DS	Based on Mesa Boogie® Mark V distortion tone
45	SHIVANI CL	Based on Bogner® Shiva clean channel
46	SHIVANI OD	Based on Bogner® Shiva distortion channel

47	ECSTATIC GREEN	Based on Bogner® Ecstasy clean channel
48	ECSTATIC BLUE	Based on Bogner® Ecstasy Crunch channel
49	ECSTATIC RED	Based on Bogner® Ecstasy distortion channel
50	HERBART CH2	Based on Diezel® Herbert channel 2
51	HERBART CH3	Based on Diezel® Herbert channel 3
52	DIZZY V4 CL	Based on Diezel® VH4 clean tone
53	DIZZY V4 CR	Based on Diezel® VH4 Crunch tone
54	DIZZY V4 DS	Based on Diezel® VH4 distortion tone
55	SEVERE DS A	Based on ENGL® Savage 120 Mark II Crunch channel
56	SEVERE DS B	Based on ENGL® Savage 120 Mark II Lead channel
57	POWER DS A	Based on ENGL® Powerball Crunch channel
58	POWER DS B	Based on ENGL® Powerball Lead channel

CAB		
Num	Effect Name	Description
1	65 DR 112	Based on Fender® 65 Deluxe Reverb 112 cabinet
2	65 TR 112	Based on Fender® 65 Twin Reverb 212 cabinet
3	BASSGUY 410	Based on Fender® 59 Bassman 410 cabinet
4	GALAXY 112	Based on Supro® Galaxy Combo 112 cabinet
5	COMBO 212	Based on Vox® AC30 212 cabinet
6	1936 212	Based on Marshall® 1936 212 cabinet
7	1960 412 A	Based on Marshall® 1960A 412 cabinet
8	1960 412 B	Based on Marshall® 1960B 412 cabinet
9	FRYMAN 112	Based on Friedman® Small Box 112 cabinet
10	FRYMAN 412	Based on Friedman® 412 cabinet
11	ARCHEAN 212	Based on Paul Reed Smith® Archon 212 cabinet
12	ARCHEAN 412	Based on Paul Reed Smith® Closed Back 412 cabinet
13	CITRUS 112	Based on Orange® PPC 112 cabinet
14	CITRUS 212	Based on Orange® PPC 212 cabinet
15	CITRUS 412	Based on Orange® PPC 412 cabinet
16	CUSTOM 412	Based on Custom Audio Amplifiers® 412 cabinet
17	US CLASSIC 212	Based on Peavey® Classic 50 212 cabinet
18	5153 412 A	Based on EVH® 5150III® 412 cabinet
19	5153 412 B	Based on EVH® 5150III® S EL34 412 cabinet
20	SOLO 412	Based on Soldano® Slant Classic 412 cabinet
21	CALI TEXAS 212	Based on Mesa Boogie® Lone Star 212 cabinet
22	CALI REC 412 A	Based on Mesa Boogie® Rectifier® STD OS Straight 412 cabinet
23	CALI REC 412 B	Based on Mesa Boogie® Rectifier® STD OS Slant 412 cabinet
24	CALI V 412	Based on Mesa Boogie® Rectifier® Traditional Slant 412 cabinet
25	BOGNAR 412 A	Based on Bogner® SL 412 cabinet
26	BOGNAR 412 B	Based on Bogner® ST 412 cabinet
27	DIZZY 412 A	Based on Diezel® Rear-Loaded G12 412 cabinet
28	DIZZY 412 B	Based on Diezel® Rear-Loaded V30 412 cabinet
29	SEVERE 412	Based on ENGL® E412VSB 412 cabinet
30	POWER 412	Based on ENGL® E412XXL 412 cabinet
31-80	EMPTY	For loading third-party IR file via editor software on computer.

注意事項
すべての製品名はその所有者に帰属し、本製品およびマニュアルではトーンタイプの参考としてのみ使用されています。このリストは説明のためのものです。